

# 各自治体における取組について

令和3年1月29日

# 滝川市の流域治水の取組み



滝川市

## ◎支流の流出抑制、支川氾濫抑制、 内水被害を軽減する取組

・河道掘削、樹木伐採による  
流下断面の拡大



・支流の森林整備(植樹)  
による流出抑制



・公共下水道(雨水)の整備



## ◎大規模災害時における迅速な 復旧支援の取組

・災害時対応復旧資機材の  
整備(マンホールトイレ  
発電機等)



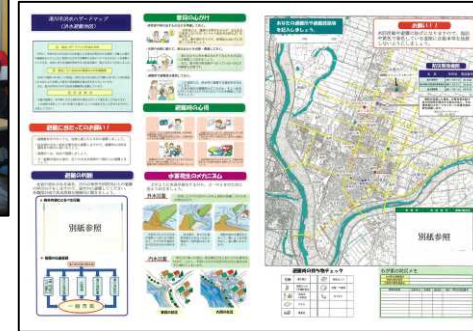
【その他】・防災拠点としての道の駅の整備(予定)

## ◎防災教育や計画策定及び情報発信の取組

・ハザードマップの策定  
及び住民への周知



・出前講座による  
防災教育の実施



【その他】

- ・不動産関係者への水害リスク情報の提供
- ・「マイタイムライン」の作成及び更新
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成と訓練実施等
- ・自主防災組織の活性化支援
- ・下水道BCP(業務継続計画)の策定
- ・災害情報の発信、公共交通網、企業危険物管理施設、大規模工場等への浸水リスク情報周知
- ・都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導(予定)
- ・SNSを活用した発信、災害伝承のための記録提供(予定)

## ◎その他の取組全般

- ・防災専用パトロールカーの配備
- ・外部人材(地域おこし協力隊、集落支援員)等の活用(予定)



## ●防災フォーラム「昭和56年水害の経験と知恵の伝承」

昭和56年に発生した水害から得られた教訓・記録を次の世代に伝承し、あらためて地域の特性や防災対策の必要性を認識し、地域の防災力を高めるために開催。

参加 市民、関係者 70名

協力機関 自主防災組織・砂川市防火防災協力会・砂川広域消防組合・札幌開発建設部・札幌建設管理部

- 内容
- ・昭和56年当時の水害の写真の展示
  - ・昭和37年、50年水害動画の上映
  - ・昭和56年水害の説明
  - ・昭和56年以降の治水事業の変遷についての説明
  - ・有識者によるパネルディスカッション



## ●地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進

砂川小学校1日防災学校

内容: 講話、新聞紙の皿づくり等



防災に関する出前講座等の実施(適時)  
希望団体に対する出前講座を実施。

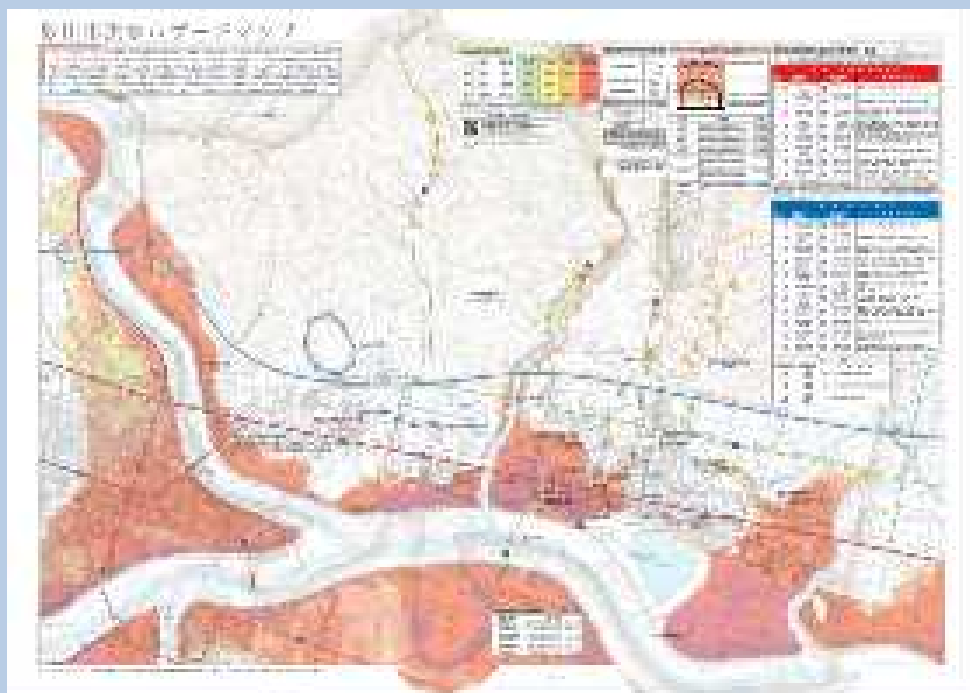




# 砂川市の流域治水の取組み

## ●ハザードマップの作製及び住民への周知

- ・転入者へのハザードマップの配布
- ・ホームページやSNSを活用したハザードマップの周知
- ・出前講座や防災訓練などハザードマップの活用方法の周知



## ●まるごとまちごとハザードマップの推進

避難所等の認知度の向上を目的に市内28箇所、36枚の看板を設置



# 砂川市の流域治水の取組み

## ●自主防災組織の活性化支援

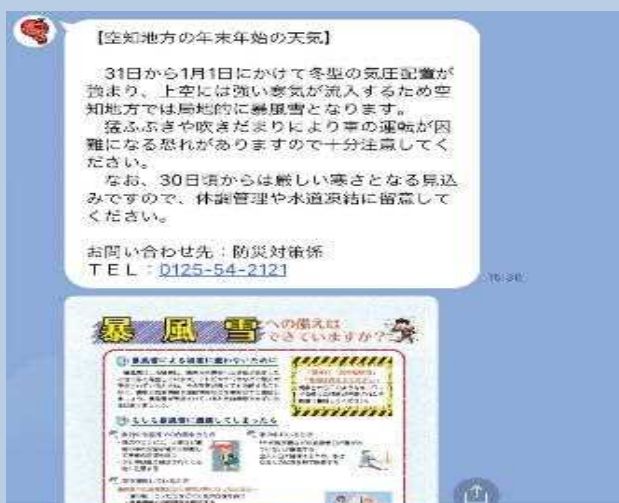
- ・自主防災組織を設立する町内会に対し  
上限2万円の補助金を支給
- ・自主防災組織の活動旗の作成
- ・防災訓練の補助や物品の貸し出し



## ●テレビ・ケーブルテレビ・ラジオ・SNS等を活用した災害情報等の発信の強化

【LINE公式アカウント】

【UHB地デジ広報】





# 砂川市の流域治水の取組み

## ●公共下水道(雨水)の整備



## ●内水排除用ポンプ・発電機の購入



## 深川市緊急浚渫推進事業の取組み

○石狩川水系オサナンケップ川河道掘削の実施 R2年度～R3年度

○これまでの出水等による土砂堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。

事業量 340m<sup>3</sup>      事業費(起債) 5,000千円



着工前



土砂掘削状況



完 成

# 深川市の流域治水の取り組み (水道分野)

1. 下水道BCP作成済み。



# 深川市の流域治水の取り組み (防災分野)

1. 田んぼダムについては関係機関との連絡体制の整備を検討中。
2. 防災拠点の整備として、耐震化及び浸水深を想定した深川市役所の新庁舎を建設予定。
3. 不動産関係者への水害リスク情報の提供としては、ホームページで公開。
4. 出前講座による防災教育については例年実施。
5. 地区防災マップについては、令和2年に改訂済み。
6. 自主防災組織の活性化支援については、今年度は感染症拡大防止のため未実施であるが、例年は実施。
7. ハザードマップの住民周知は、実施済み。

## 1. 小学生を対象とした防災教育の推進

教育委員会、子ども会育成連絡協議会主催のチャレンジクラブ(小学生対象)により防災クロスロード・避難所設営体験を実施。



## 2. 地域住民を対象とした防災教育の推進

防災訓練や出前講座等においてハザードマップを使用した防災講和を実施。



### 3. 災害復旧などを迅速に行う防災拠点

道の駅「ハウスヤルビ奈井江」において、道路管理者である札幌開発建設部と奈井江町が連携し、それぞれが災害時の対応(防災機能)を高めることを目的として、防災拠点化に関する協定を締結。

防災拠点化に関する相互協力として

- (1) 災害情報の収集提供
- (2) 被災者や道路利用者等の避難誘導等の支援
- (3) 防災拠点として必要な資機材の整備
- (4) 防災拠点として必要な維持・管理
- (5) その他防災拠点の機能として必要な事項



今後の取組予定として

防災資機材倉庫の整備及び資機材の納入、防災訓練の実施を予定。







### 【流域における対策】

- 河道掘削による流下能力の確保
- 防災拠点（新庁舎）の整備



河道掘削

### 【まちづくり・ソフト施策】

- 出前講座によるハザードマップの説明
- 自主防災組織で行う研修会の支援
- 老朽化した防災行政無線を更新し、受信機を全戸に配布



出前講座



自主防災会研修会



戸別受信機

## 妹背牛町の流域治水の取組み

### ◎従来の取組み

- ・普通河川の河道掘削による流下能力の維持



【施工前状況】



【施工中状況】



【施工完了】

- ・町で管理している排水機場の計画的な整備



【整備点検前】



【整備状況】

### ◎今後の取組み

- ・普通河川の河道掘削の継続 河道掘削及び樹木伐採を行い流下能力確保に努める。
- ・可搬式非常用発電設備の整備 停電や内水排除時の電源として非常用発電施設を整備する。

### ◎取組み状況

- ・令和2年度 芽生川幹線排水路浚渫工事
- ・令和2年度 新千代排水機場機能増強工事



## 秩父別町の流域治水の取組み

### ◎流域における対策

- 支流の流出抑制の取組
- 支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組



【支川の氾濫抑制対策】  
緊急浚渫推進事業

- ・田んぼダムを活用した雨水調節機能の確保(多面的機能支払交付金事業)
- ・支川、水路における氾濫抑制対策(緊急浚渫推進事業)
- ・排水機場の整備(2条排水機場)



【排水機場の整備】  
2条排水機場

### ◎まちづくり・ソフト施策

- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組

- ・地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進
- ・自主防災組織の活性化支援
- ・ハザードマップの策定及び住民への周知
- ・災害情報等の発信等



【一日防災学校(小学校)】  
段ボールベッドとワンタッチテント設置



【防災訓練(自主防災組織の活性化支援)】  
避難場所の責任切り、テントの設置



【災害情報等の発信】  
戸別受信機の全戸配付



## 沼田町の流域治水の取組み

### ◎町管理河川の取組

- ・浚渫及び法面補修
- ・河道掘削及び伐木

### ◎低地帯浸水危険区域の取組

- ・道営湛水防除事業(沼田排水機場)

### ◎農業分野の取組

- ・多面的機能支払交付金事業(田んぼダム)
- ・農業用水路等長寿命化・防災減災事業(ハザードマップ作成)

### ◎地域防災の取組

- ・トイレトレーラーの配備
- ・防災のしおりの作成・配布
- ・洪水ハザードマップの作成・配布
- ・高齢者等見守りサポート事業「はあとふる沼田」と連携した自主防災組織の育成